

ステンレス配管・継手の漏水緊急補修カバー

Bandfit

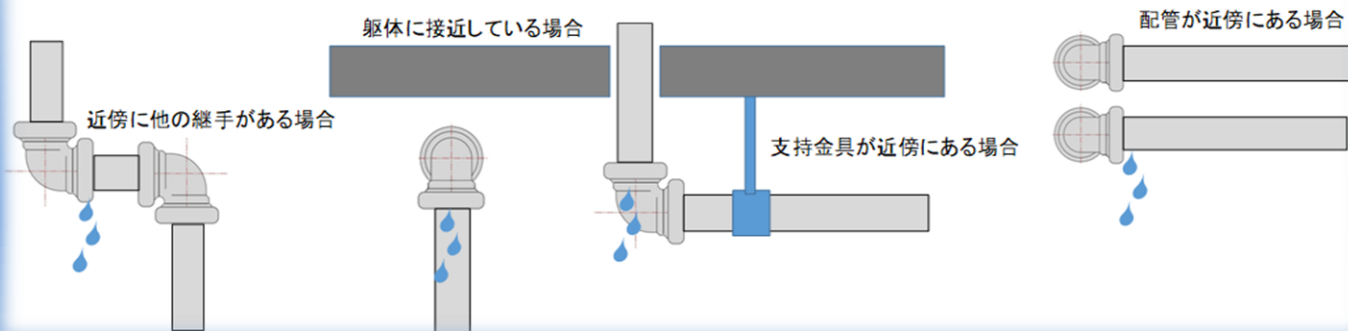
ポンプを止めないで、六角レンチとモンキーレンチで簡単に補修できます。



注意!!
Bandfit は 緊急補修用です
長期の耐久性保証は出来ません

適用できる管 JIS G 3448 【一般配管用ステンレス鋼管】

Bandfitが使用できない場合の例



東尾メック株式会社

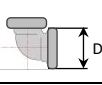
Bandfit 施工要領書

1. 適用範囲

鋼管 一般配管用ステンレス鋼鋼管
20Su~50Su (JIS G 3448)

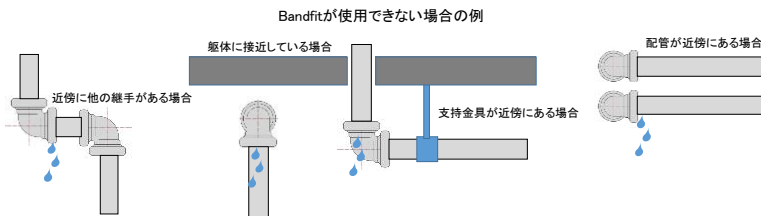
継手の形状 エルボ、チー、ソケット等

【径違い継手のサイズは別紙のBandfit施工可否範囲を参照下さい】

適用できる継手の外径	呼び (Su)	外径D (mm)
	20	42.1以下
	25	49.5以下
	30	60.2以下
	40	69.4以下
	50	76.4以下
温度	70℃以下	
圧力	0.5MPa以下	
流速	2.0m/s以下	

2. 設置場所の確認

設置箇所周囲に障害物(壁、他の配管、支持金具、継手など)が無いかを先に確認下さい。
下記の様に障害物がある場合は設置できません。詳細は別紙 (Bandfit施工可否範囲) 参照下さい。



3. 六角穴付きボルト、六角ナットの取り外し

Bandfitから六角穴付きボルト及び六角ナットを取り外して下さい。

- ・パッキンの接着は剥がさないで下さい。
- ・異径対応口の六角穴付きボルトは取り外さないで下さい。

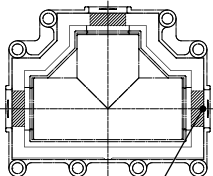
六角穴付きボルト及び六角ナットを紛失した場合は、下表に適合するものを手配下さい。

呼び (Su)	六角穴付きボルト	六角ナット
20	M8x30 鋼製：強度区分12.9	M8 鋼製：強度区分8以上
25~50	M10x35 鋼製：強度区分12.9	M10 鋼製：強度区分8以上

5. パッキンの確認、潤滑剤の塗布

パッキンに異物の付着がないか確認して下さい。異物が付着している場合は、除去して下さい。

パッキンのR形状部に信越シリコーン社製：KF96SPを塗布して下さい。



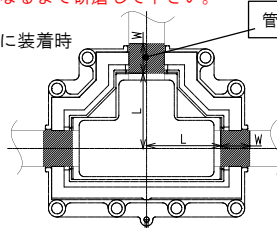
KF96SP塗布部 x 6箇所

4. 管の確認、清掃

管外面のパッキンシール部に異物の付着や大きな傷及びカエリがないか確認して下さい。

- ・異物が付着している場合は、除去して下さい。
- ・保温材等がこびりついている場合は、粒度120番の布ヤスリを用いて除去して下さい。
- ・大きな傷及びカエリがある場合は、細目の鉄工用ヤスリを用いて引っ掛かりがなくなり、滑らかなるまで研磨して下さい。

例) チーズに装着時



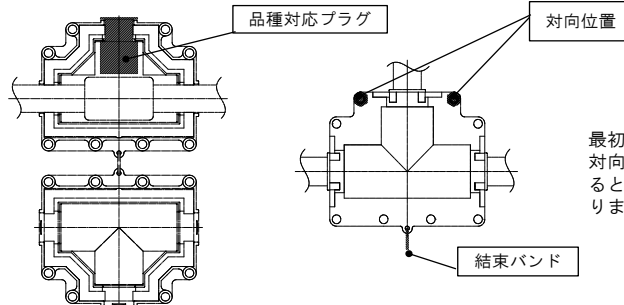
呼び (Su)	L (mm)	W (mm)
20	60	26
25	64	28
30	71	28
40	76	28
50	80	28

6. Bandfitの仮装着

漏洩している継手部にBandfitを仮装着して下さい。

エルボ及びソケットに施工する場合、不要となる接続口に品種対応プラグを下図の向きに装着して下さい。

例) ソケットに装着時

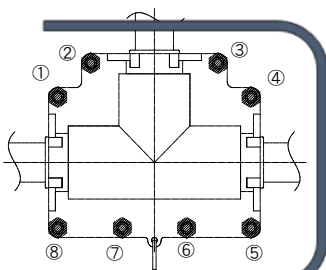


最初に結束バンドの対向位置を仮締めすると作業が容易になります。

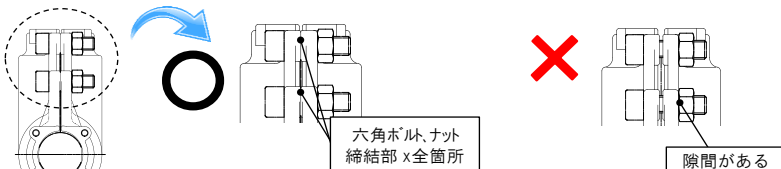
- 【注意】
- 品種対応プラグは接着固定していませんので、脱落による事故に注意下さい。

7. 六角ナットの締め込み

Bandfit本体の六角穴付きボルト及び六角ナット締結部同士が密着するまで時計回り又は反時計回りで2回に分けて六角ナットを均等に締め込んで下さい。



例) 時計回り



- 【注意】
- 六角ナットの締め込み不足の場合は、漏洩の原因となります。
- インパクトレンチを使用する場合は、過締めによる六角穴付きボルトの損傷に注意して下さい。
- 六角ナットの締め込み終期は漏洩している流体が飛沫します。
- 六角ナットの締め込み開始箇所及び締め込み順序で流体の飛沫方向を調整して下さい。
- 給湯、温水配管に施工する場合は、火傷に注意して下さい。